

◆生物多様性に配慮したみどりの保全と創出

○生物多様性の保全を図っていくために、札幌のみどりの現状や特性などを踏まえ、自然環境の保全や、森林、草地、水辺地などの保全や創出に努めるとともに、公園緑地や河川などを活用した生物の生息・生育地の連続性の確保に努めます。また、外来種の扱いについては、外来生物法(特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律)に基づくとともに、専門機関などの意見をもとに適切に対応します。

<計画進行管理の指標>

- * 植樹祭などの参加者数(開催数)(再掲)
- * 市民参加で植樹した本数(再掲)
- * 法律や条例などで守られているみどりの面積(再掲)
- * 二酸化炭素吸収量
- * みどりに関する講習会などの開催数(再掲)
- * みどりに関する講習会などに参加した市民の割合(再掲)
- * みどりに関する講習会などに参加し、今後も参加したいと思っている市民の割合(再掲)

◎推進プログラム柱4 公園の魅力の向上

公園は、美しい都市景観を形成し、訪れる人に安らぎやうるおいなどの心理的効果をもたらすほか、災害時の避難場所として利用されるなど、都市の安全性の向上に重要な役割を果たしています。これらの役割を効果的に発揮させるため、財政的な制約が厳しさを増す中で、既存施設の有効活用や効率的な維持管理に力点をおいた施策の方向転換が必要です。

この推進プログラム「公園の魅力の向上」では、周囲の環境や市民(住民)のニーズに対応しながら、公園の機能の見直しや充実を進めることにより、みどりの将来像のひとつである「私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり」を実現するための施策を展開していきます。

主な取組みとしては、市民が安全かつ安心して利用できる公園の効率的な管理運営を進めるとともに、公園の機能を充実させ、市民ニーズを踏まえた公園の利活用を進めます。

※地域コミュニティ

コミュニティは、地縁、血縁、文化的背景、価値観などにもとづく共同体であり、そのうち、地縁的な要素の大きいものを地域コミュニティとする。

◎推進プログラム柱4 公園の魅力の向上

●プログラム

◆施策の方向性

⑩安全安心と地域コミュニティをはぐくむ公園の管理・運営を進めます

- ◆安全と効率を重視した公園の維持管理
- ◆市民の満足度を高め愛着をはぐくむ公園の運営と施設の見直し
- ◆公園の管理・運営への市民参画の推進

⑪人・まち・環境に役立つ公園の機能を充実します

- ◆大規模公園の機能の充実
- ◆身近な公園の効果的な配置
- ◆すべての人にやさしい公園づくり
- ◆都市景観に配慮した公園づくり
- ◆災害に強いまちづくりに資する公園づくり
- ◆環境保全に資する公園づくり

⑫市民のニーズを踏まえた利活用の促進を図ります

- ◆市民や観光客にとって魅力ある公園づくり
- ◆市民に親しまれ活用される公園づくり
- ◆冬季間における公園の活用の促進

プログラム⑩ 安全安心と地域コミュニティをはぐくむ公園の管理・運営を進めます

安全と効率を重視した公園の管理と、地域特性や市民ニーズを踏まえた公園施設の見直しを進めるとともに、市民・活動団体・企業などと連携して市民の満足度を高め愛着をはぐくむ公園運営を進めます。

◆安全と効率を重視した公園の維持管理

○市民が安心して公園を利用できるよう、安全を重視した維持管理を行いながら、より一層計画的かつ効率的な維持管理を進めます。

◆市民の満足度を高め愛着をはぐくむ公園の運営と施設の見直し

○市民の満足度を高めるために、市民ニーズを把握するなど、地域の状況を踏まえつつ、利用者の視点から公園施設とその運営を見直し、市民に愛される公園づくりを進めます。

◆公園の管理・運営への市民参画の推進

【多様な市民の管理運営への参画の推進】

○個人・団体などの多様な市民が公園の管理運営に参画することで、市民がみどりとふれあうことができる機会を増やすとともに、公園における市民活動を起点とした地域コミュニティの醸成につなげていきます。

【協働による管理運営のためのしくみづくり】

○民間による公園施設の設置や管理、PFIなどの民間資金の活用、CSR活動の一環としてみどりに関する取組みを進めてもらうためのインセンティブの導入など、民間活力を導入した公園管理のしくみを検討し、協働による公園の管理運営を推進します。

※PFI(Public Finance Initiative)

(パブリック・ファイナンス・イニシアティブ)公共施設等の建設・維持管理・運営などを民間の資金、経営能力、技術を活用する手法。

※CSR

(Corporate Social Responsibility)

(コーポレート・ソシアル・レスポンシビリティ)企業の社会的責任。企業は社会的な存在であり、自社の利益、経済合理性を追求するだけではなく、ステークホルダー(利害関係者)全体の利益を考えて行動するべきであるとの考え方であり、行動法令の遵守、環境保護、人権擁護、消費者保護などの社会的側面にも責任を有するという考え方。

※インセンティブ

人の意欲を引き出すために、外部から与える刺激、動機づけ、誘因。

<計画進行管理の指標>

- * 公園機能の見直しを図った公園の数(再掲)
- * 身近な公園に対する市民の満足度(再掲)
- * 公園の管理や運営への参画数(団体・個人)